

毎日の生活に欠かせない水

水 は飲料・洗濯・調理・入浴など生活のあらゆる場面で欠かせませんが、できない重要な資源です。菰野町で1日に必要とされる量は約1万3000トン。これは菰野町B&G海洋センターのプール約30杯分に相当します。これらの水は主に町内の深井戸を水源としています。取水した水をそのまま水道水として提供することはできません。取水された水は浄水場でpH値を中性に保つための調整や塩素消毒などを行い浄水処理されます。この工程によって皆さんの家庭に届けられる水はいつでも安全に料理や洗濯などに利用することができます。

浄水処理された水を貯留し、各配水池から高低差を利用して各家庭へ水を届けます。

配水池よりも高い場所や高低差が足りず水圧が低い場所へ配水するため、加圧を行っています。

水道施設の例

安全安心な水をとどけるための

水の旅

高低差を利用して各家庭へ

浄 水処理された水は、浄水場から送水ポンプで高地にある配水池へ送られ、基本的に高いところから低いところへ流れる力を使って各家庭へ配水されます。町内全域に配水するため、この高低差を最大限に活用しています。しかし、急傾斜地の多い菰野町では高低差が激しく水圧が高くなりすぎる地域も多くあります。そのような地域では減圧弁や減圧水槽を使い、水圧を調整して配水し、一方で配水池より高い場所や配水池に近すぎて水圧が得られないような場所は加圧ポンプを使用して水を届けています。このようにさまざまな施設や設備を使用して町内ほぼ全域に配水することを可能にしています。

皆さんも一度、普段蛇口から何気なく流れ出てくる水も、たくさんの過程を経てたどり着いているのだと眺めてみてはいかがでしょうか。

>>> 町で1日に使われる水量は…
プール約**30**杯分

住民の皆さんが安心して水道水を飲めるよう、こまめに水質検査を行っています。菰野町のおいしい水を改めて実感してみてください！



水道課 船倉悠聖

減圧弁と同じく、高い水圧を減圧させるため、水槽に水を滞留させ水圧を調整します。



水圧が高くなりすぎる場合に水圧を低減させるため、内蔵された弁で減圧して調整します。



水道 CHECK 町内の水道管は約 352 キロ

町内に張り巡らされた水道管をつなぎ合わせると、菰野町役場から千葉県や広島県まで達する約352キロメートルにもなります。鉄製や塩化ビニール製の管などが用いられていますが、経年化が進んでいる部分もあります。町水道課では区間を定めて計画的に水道管の更新を行っています。



▲経年化によりひび割れした水道管

水道 CHECK 飲み水に必要な塩素消毒

蛇口から出る水道水をそのまま飲むことは世界的に見れば珍しいことです。そのために欠かせないのが塩素消毒です。法令で遊離残留塩素を1㍉あたり0.1㍉以上保つことが定められており、塩素の臭いが気になる方もいるかもしれませんが、安全な水である証明ともいえます。



▲原水に滴下されるわずかな塩素

04 水道水に

各施設を介して浄水処理された安全安心な水道水が町内のほぼ全域に供給されます。各家庭の全ての水道水にこのような処理が施されています。

03 水質検査

水源から各家庭の蛇口まで定期的に法令で定められた水質基準に適合しているかの検査を行い、安全性を確認しています。



02 浄水処理

主に次亜塩素酸ナトリウムで原水を消毒したり、pH値を中性に保つために苛性ソーダを加えることもあります。原水の総量に比べるとわずかな量です。



01 原水の取水

井戸などから取水した水を原水といい、この原水を浄水場で浄水処理します。深井戸は約200㍉の深さがあり、地中深くの帯水層の水を取水しています。



もしもの時の

災害等による断水に対応するため、町内の備蓄倉庫には非常用飲料水を備えています。また、断水が長期化する場合は給水車などで給水活動を行います。他にも災害時などで断水のおそれがある場合は、トイレの排水などに利用できるようお風呂に水道水を溜めておくことで、もしもの時に活用できます。



取水した原水に混じった微細な砂などを遠心力で分離させて取り除きます。



浄水場でpH値調整や消毒などの処理を行った水を高地にある配水池へ送水ポンプで送ります。